

高退協ニュース

高知高退協事務局
1999・1・1
No.96

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内二丁目一〇番地
教育会館内
振替口座 0168881221168932



一九九九年を迎えて

坪井 幹之

明けましておめでとうございます。
みなさんもお元気で新しい年を迎えられたことと思います。
昨年は参議選など、ご苦勞様でした。また、水害など思わぬ災難に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。
しょうこりもなく国民いじめの悪政が続いていますが、大局的には社会進歩の歩みは着実です。
来年は二〇〇〇年、さして二年後には新しい世紀の幕開けです。希望をもって、今年も健康に留意し、手を取りあつてともに頑張らしましょう。

新春をお祝中しあが
ます。この日は選挙の
年です。また、お世帯の
なごみです。三上高平さんが
都知事選に立候補する
の。私の血を分けた
の。四十の力があつて
く三上高平さんを選
にやめかたに立つ
九十もく、四つ
校長、春には力
の。長城に行き、た
より。立憲気な
秋月や満天の星
らめ、こま
か、いかに白刃のあり
お体大切にしてください。

原健三郎

新春俳句

合田 青幹

とりたてて願ふことなく初詣

田所たねを

付き合ふは一病でよし初祈願

吉本 仲秋

若菜摘む指の弾みの美しき

中内みち代

凜と咲く素菫水仙句碑に添ふ

小笠原さちを

像凜と自由は死せず寒椿

草声老語

一九九八年は不況に明け、不況に暮れた。九年は明るい希望の年にしたいものだ。
だが、暮らしても平和もいまだんと危機を迎えている。「自連合」政治の実現で、ますます反国民的政治の強行が心配される。

暮らしの面では、消費税を福祉目的税と名前を変え10%以上にしようという。「金持ち減税」となる減税制度に変更するばかりか、法人税のさらなる引き下げが企図されている。49・98%から46・36%に引き下げたばかりなのに、40・87%にするという。さらに、企業グループ内の赤字と黒字を相殺し課税をする「連結納税制度」の導入で、一兆円近くもの減税をさせようとしている。

平成十二年度からは介護保険の出発で毎月数千円が年金から天引きされるといふ。いったい国民の生活はどうなるだろう。
平和の問題でも、「新ガイドライン関連法案」の成立で、アメリカの始める戦争に日本が自動的に参戦する。しかも国会には事後報告で済ますという。平和憲法無視、議会制民主主義の破壊そのものである。

日本国憲法はその前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍の起ることを決意しないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」と主権者国民よ、しっかりせよ」と要請している。
20Cは二つの世界大戦を経験した。その教訓として恒久平和、国民主権、基本的人権尊重の三大原則を基本とする国連憲章や民主憲法が誕生した。

21Cを目前にした今、「過ちは二度と繰り返さない」「の決意を再度固めて」「われらとわれらの子孫のために」「奮闘しようではないか。」「生きた証」として、平和、民主、生活上の世の中を実現させよう。「老兵は消えるのみ」であつてはならない。(岡崎)

「秦泉寺日記」抄 坪井 幹之

十一月

「十七日」高退協事務局会議の日。一時よりニュースの発送準備。引き続き会議。研修旅行等の諸報告のあと当面する望年会、新年の集い、ニュース新年号の編集等を協議。
「二十日」小川逸雄先生急逝。葬儀に参列。現職時代はもちろん、高退協の活動でも「山の会」、読書会でご交誼を頂く。独特の風格をお持ちの会員がまたお一人去る。哀惜ひとしお。

「二十二日」小豆島山行に出発。参加者十一名。一日目は土庄に近い皇踏山(おうとざん)に登る。十三重石塔のある岩山、東峰、最高峰西峰と縦走。最後は急坂の藪こぎ。悪戦苦闘の末、やっと下山。へんろ宿「ひろきや」に泊まる。茶瓶で燗した酒で乾杯。
「二十三日」寒霞溪から島の最高峰星方城山(八一七米)を目指す。お目当ての紅葉は

天候不順の影響でもひとつの感。快晴に恵まれて瀬戸内海の景観を堪能。帰路に立ち寄った名勝地「石門」には一同感嘆。バス、高速艇、JRと乗りついで無事帰高。

「二十七日」老泳会に参加。プールは閑散。のびのびと泳ぐ。

「二十八日」高退協読書会十一月例会。六名の参加。小説「太公望」を論ず。「殷周革命」で大きな役割を果たした主人公「望」を通して中国古史の片鱗に触れる。次回は「四国遍路の民衆史」で古今東西の「巡礼の旅」を考察する予定。

十一月

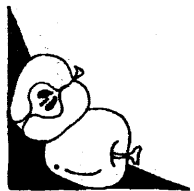
「四日」老泳会の日。師走の月に温水プールで泳ぐ、それも無料。考えてみれば有り難いことである。

「六日」「山の会」十二月例会、美良布の北にそびえる鉢ガ森に登る。同行二十二名。天気は上々。小春日和の中、枯草の稜線歩きは気分爽快。下山後、セレネの温泉で入浴。

「望年会」参加者 過去最高!

12月10日、恒例の望年会が高知城ホールで開かれ、代々の参加者30、40名は申し込みが一年に増え、当日飛び入り参加もあり、係一同どうやって54名の席をつくらうかと嬉しい悲鳴をあげました。日頃の研鑽の成果もつぎつぎに披露され、笑いの絶えない一夜でした。来年はどんな研究がとび出すかと楽しみです。職場をはなれ、会う機会の少なくなつた仲間と会い、来し方をふりかえり明日を語るこの望年会の意義は大きいと初めて参加して感じ

ました。例年出席している方はともかく、初めての場、腰があがりにくいものです。参加者一人がもう一人を誘えば、来年は百人規模の会が実現するかも知れません。そうなればもつと広い場所を確保しなければと、係は一年後の心配までしています。ではまた来年おあいしましょう! (望年会係)



一九九八年高退協 十大ニュース

望年会で発表された昨年の10大ニュースは次の通りでした。

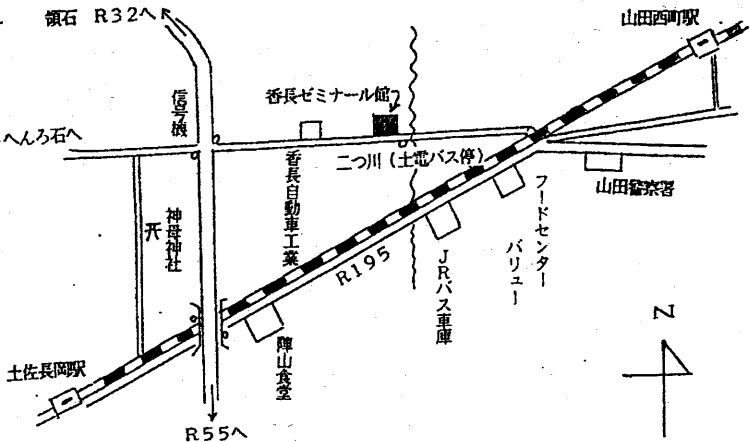
1. 1月5日「初歩きと新年宴会」で朝倉の史蹟をめぐる
2. 4月25日高退協総会、退職者を励ます会
3. 5月19日サークル助成と外来診療補助で互助部と交渉
4. 6月3日全退教総会に岡崎副会長
5. 7月12日参議院で西岡氏借敗、橋本政権崩壊
6. 7月12、25日山の会北吹を行く
7. 8月28日夏季学習講座に46名
8. 上岡 積氏 「ジョギング讃歌」中内光昭氏 「DNAの話」
9. 10月25日市長選 植田氏およばず
10. 11月5、6日香川の全退教全国交流集会、四プロ交流集会に参加
11. 11月12、13日鳴門・淡路の研修旅行に30名

貸し農園で 農作業はいかが

香長ゼミナールでは、約30区画の貸し農園の形で、自然の恵みに感謝しながら野菜作りや花作りを楽しむ会員を募集しています。自分の手づくりで自然食品や天然色の美しい花を作ってみませんか。

募集要項

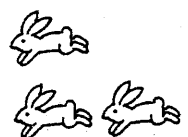
- 場所 南国市陣山 香長ゼミナール館の前(地図参照) 県道沿いで便利、灌漑用水に沿って水利も良い。
- 区画 一区画が約20坪で30区画用意してあります。
- 会費 年間 5000円 (一区画の一年間の土地代として)
- 申込先 南国市陣山593 香長ゼミナール館 窪田充治(☎0888-6313117)



計報 会員の小川逸雄先生が十一月十八日に死去されました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

平和と民主主義を守る行動

- ① 2/11 「建国記念の日」に反対する県民集会
- ② 3/1 卒業式「君が代」日の丸「強制反対ピラ配布
- ③ 5/1 メーデー
- ④ 5/3 憲法記念県民のつどい
- ⑤ 8/15 記念集会
- ⑥ 9/19 革新懇総会
- ⑦ 10/29 県高齢者集会
- ⑧ 11/3 憲法公布52周年のつどい



水害のお見舞いに

カンパをお願い

今秋高知市を中心に襲った集中豪雨は、開発優先の行政がもたらす災害の危険をみせつけ、警報もなく、突然おしよせた濁流に、被害者は貴重な家財を失いました。

高退協事務局は遅ればせながら11月20日、床上浸水した会員宅をお見舞いし、寸志をお渡ししました。徳弘博男さん宅は留守でしたが、近所の人は「ここまで水がきたぜよ」と、道路から2メートル近く高い壁を指していました。島本理夫さん宅はすぐそばの小川の護岸がえぐられて、水勢の激しさを物語っていました。

山北不二男さん宅は大工さんがはいつて修理中、岡本竹夫、京子さん宅は昨日修理がやっと終わったのと、とで、いづれも階下の家財と書籍を全部失ったのとことでした。

事務局ではお見舞いの寸志に一口千円のカンパをお願いすることにしました。振替用紙を同封しましたので、よろしくお願い致します。

「△△」の消息

☆佐藤いづみさん 十月にもみの木病院に入院、意識を失ったこともあるが、次第に回復、現在は病状も安定。しばらくの間、芸西病院で療養されるとのこと。

(11.23 小島)

新年の集い

恒例となりました新春交流の集いを下記の要領で開催します。参加ご希望の方は佐川地区の担当まで至急お申込み下さい。

記

1. 日時 1月5日(火) 9時40分
JR佐川駅集合

2. 日程

第1部 [新春ハイキング] 小雨決行

「佐川ミニ八十八カ所」を歩く(5時間)

第2部 [新年宴会] 4時開宴

NTT前「わだ」(駅より5分) 会費4千円

3. 担当

池内 干雄 (0889-22-3375)

鎌倉 信吉 (0889-22-3202)

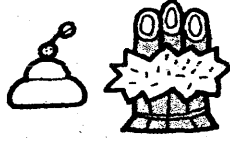
関田三七郎 (0889-22-0658)

私の健康法?

ケセラ・セラ!

晩酌のビールでホンワカ良い気分が、突然思いがけなくK先生から電話が入る。曰く、高退協ニュースへ「私の健康法」と題して一筆書け。との事である。何を勘違いされたのか一番の不適合者へのご指名だ。健康法はおろかすべてに涉つての優等生を推挙申し上げたら、「貴女達二人で良きに計らえ」との仰せで、即、優等生に電話をすると、彼女がK先生の勘違いと私の困惑振り、を呵呵大笑した。挙句「ご指名はアンタよ」と冷たく付き離されてしまった。

かくなる上は是非も無し! さて、私の健康法は? これは何も無いのである。好きな物を好きなように食べて、好きなように飲んで、好きな様に生きる。これが私の生き方なのである。膝が痛い? 肩が凝る? 胃が重い? 年を取れば当たり前。土の布団を着りや癒える。という調子なものだから、こんな馬鹿にはかまっちゃおれない。と向う様も呆れか町の検診もお日様マクである。いづれ此のツケは廻って来るだろうが、それ迄はケ・セラセラで笑って暮らす事になっている。強



11月1日(日) 甫喜ヶ峰森林公園

人声のあり色鳥の声あり
未枯の池の浮葉に及びたる

爽やかや森林浴の道下る
土踏める靴の裏より山の秋

笹鳴に耳を澄ませば遠き風
がまずみの宿せる露の清浄に

未枯れ咲くまま吹かれるし秋薊
一峰の空の青さや野菊咲く

朝露をまとひ竜胆開き初む
令法てふ幹美しき秋木立

いて言えば、誘われてお義理でやっている週一回の生命の野著体操と、山の会の山行が近づくと、俄に始めるウォーキング位のものである。

真面目に健康管理をしていられる先輩諸兄姉には大いに叱りを受けるかも知れないが、八方破れの気楽さが案外私の健康法といえるのかも知れない。(渡辺)

海を渡った

「文学散歩」山川久三著

3年前に出版された同著が、アメリカ議会図書館の要望で海を渡って同図書館に納められました。本人によると「全然考えが、本人に合ったことでしたが、日本の国会図書館が発信源のよう」とのことです。

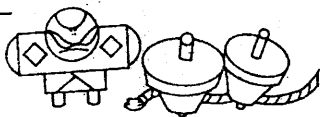
ごあんない

山原健二郎さんの「国会活動30年を祝う集い」

山原さんの国会活動が30年になり、下記のように「お祝い」が計画されました。高退協のみなさんが、ぜひ多数ご参加くださいますようご案内いたします。

とき '99年2月6日(土) 午後6時から
ところ 三翠園ホテル (高知市鷹匠町)
会費 5000円

参加ご希望の方は、1月末迄に下記までご連絡ください
窪田一郎 0888-44-0333
中川正路 0888-22-6778

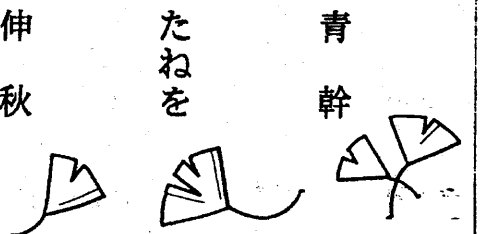


山川久三さんの出版祝い

山川久三さんが、土佐を代表する近代詩人岡本弥太の詩集「山河」を出版し、さきに出版された「瀧篇」と合わせ、南海の宮沢賢治ともいわれた弥太の全作品の出版が完成しました。その出版を祝う会が下記のように開かれますので、ぜひご参加ください。

日時 '99年1月15日 午後5時
会場 高知城ホール 4F
会費 6000円

連絡先は南国市陣山593 窪田充治さんまで
電話0888-63-3117



教育と学校に

新たな困難をもたらす 画金差別化強行も許さない！

高教組執行部

唐突で乱暴な

県教委の提示

高知県教育委員会は、一二月に入つて唐突に、県内五つの教職員組合に、一時金への格差導入を提示しました。教育や学校の行方に重大な影響を及ぼしかねない内容にも関わらず、県庁・病院・警察も確定したからと、提示からわずか三週間で、実施を決定しようとしています。

中身は示さないままの

評価制度

教職員の日常の勤務の大半は教育活動です。それを評価し、賃金を差別化しようというのですから、子どもたちに直接大きな影響を与えかねない問題です。ところが県教委は、「評価の基準、内容、手続き等」の考え方を整理できていないと率直に認めています。

基準や内容が明らかでない評価制度をもとに、来年六月から賃金格差を導入するから納得せよという乱暴な提示なのです。

一律評価十賃金差別が

何をもちたらすか

多様な教育活動を公正に評価するシステムは、教育学の分野においても未確立です。さらにそれを一律に数値化し、賃金の多少に還元するならば、混乱と不信が生じることは必ずです。

私学のごく一部に、成績主義賃金を実施しているところがあります。そこでは評価の公正さや客観性を保障するために、子どもの出席率や試験結果が評価基準とされています。制度の導入により追いつめられた教師が、熱があつても登校を強要し、不登校・遅刻気味の生徒には退学を勧告するという事態が生じています。詰め込み授業や生徒の人権を無視した管理教育にも拍車がかかっています。

非教育的なシステムの下で教職員の意欲が高まるはずもなく、中途退職者が多いのも特徴です。

土佐の教育改革にも

反する制度

「みんなで教育改革を」をスローガンに、県教委が推進する「土佐の教育改革」は、子ども・保護者・地域の学校運営への参加の道を開き、学校・家庭・地域の連携の中で教育危機を克服しようとするものです。子どもを中心にすえた学校改革の歩みが始まり、全国が注目しています。ところが、今回導入されようとするシステムは、管理者(校長・教育委員会)が管理される教職員を一方的に評価することを通じて学校を活性化しようという制度です。根本的な理念の異なる制度を乱暴に持ち込むことは、「土佐の教育改革」の重大な障害にもなるでしょう。

教育と学校を守るため、

みなさんの力を貸して下さい。

こうした制度の導入強行に対し、ほとんどの教職員は懸念を抱いていますが、県内5つの教職員組合はいずれも性急な導入強行に反対していません。校長会の代表も「土佐の教育改革」が叫ばれる中で、学校が混乱する制度導入は困る」と述べています。

この間各職場から、職員会決議、職場有志決議、分会決議、教職員連名アピールなどが教育長・知事に集中されました。

一月十七日の教育長交渉には、緊急の連絡であつたにも関わらず、組合内外の教職員が二〇〇名つめかけ、交渉の推移を見守りました。

交渉を通じ、県教委の掲げる学校の活性化・教職員の意欲向上などという理由が成り立たないことは、教育長自身が認めざるを得なくなりました。

しかし教育長は、「県全体で取り組んでいることであり、県教委だけ別枠というわけにはいかない」と導入に固執。二月二二日の人事委員

教職員の改革努力に

冷や水を浴びせる制度

深刻な教育危機の下、各校で生徒・保護者・地域が共同し、真剣な改革努力が始まっています。

賃金の格差導入は、ひたむきな共同の営みを、一教職員の個人的成果に還元させてしまいます。各校での真摯な改革努力に対し、冷や水を浴びせかけることとなるでしょう。

基準さえ整理できない評価制度では、教職員の意欲や力量向上につながるはずはなく、各校での改革努力は、根底から覆されかねません。

また基準も定まらないままに、相対評価を強要される校長先生も、職場の信頼関係が失われ、困難を背負わされることでしょう。



会において規則「改正」・通知が強行されようとしています。

制度の是非は十分な議論を尽くして結論づけるべきです。教育や学校に直接影響を与える問題であれば、当然県民的論議が必要で、導入強行をやめさせ、県民的論議の場を保障するために、ぜひみなさんにも声を上げていただくことをお願いします。

知事・教育長への手紙・ファックス、そして新聞投書をお願いします。また、お知り合いの方々にも、ぜひ「正当な評価制度」の実態をお伝え下さい。

《要請先》

高知市丸ノ内 1の2の20

高知県知事 橋本大二郎様

FAX 〓 (0888)24-7745

高知市丸ノ内 1の7の52

高知県教育長 吉良 正人様

FAX 〓 (0888)21-4725

相撲三知識 三十

林 勤



右四つ

大相撲を支える人々 (4)

〇弟子の光は七光 (1)

力士には、現役と親方の二つの人生がある。現役は十五年〜二十年くらいであるが、親方は、現役を三十五歳前後で引退をしても定年六十五歳まで三十年くらいある。

現役時代は、白星を一つでも多く重ねて、番付を一枚でも上げようと頑張るが、親方になれば、強い力士、人気力士などを一人でも多く育てることに全力をつくす。

自分が現役時代に果せなかつた夢を託して弟子を養成するが、よい弟子が育てば、結果的に相撲界に貢献することになる。それは同時に、親方としての地位を高めることになる。

相撲協会の役員(理事、監事)は立候補制で、立候補者が定員を超える場合は選挙によって理事十名、監事三名を選出し、理事の互選で理事長を決める。役員以外の役職は、理事会の選考を経て理事長が任命する。因みに、改選は二年毎の一月場所に行われる。

このようなシステムの中で、どの役職につくかということは、現役時代の実績やご本人の親方としての才能、器量、部屋の伝統などが関係するが、よい弟子を多く育てることも大きな要件になる。一般社会では「親の光は七光」と言われているのに、相撲界では「弟子の光は七光」と言われる由縁である。

引退をして親方になつても、独立して部屋を持たなければ、部屋付きの親方では弟子を養成することはできない。(次回は、部屋持ちと部屋付きについて述べる)